


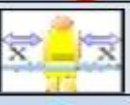













腹部用ベルト装着のチェックリスト

1	緩和抑制帯以外の全手段を考慮したか？	
2	緩和抑制帯を取付けるための周囲の空間はあるか？	
3	緩和抑制帯の状態は良好か？例えばボタンはキーで簡単にロック解除できるなど	
4	ベルトはベッドの中心に置かれているか？注意：ベッド柵は上がっていること。	
5	取付け用ストラップはベッド柵ではなくベッド枠の動かない部分に留め付けられているか？ 患者が届かない個所に留め付けること。	
6	ベルトはマットレスがへこむぐらいに、非可動部分にきつく留め付けられているか？	
7	腹部用ベルトの体幹部分が、患者のへその上を通るような場所に留め付けられているか？	
8	患者が息ができるよう、かつ上下に動かないように、腹部用ベルトがしっかりと着用されているか。	
9	全てのボタン・ピンをしっかり留めた際カチッと音がし、正しく操作できるかチェックしたか？	CLICK 
10	黒いボタンの底に圧力がかかっていない場合、キーで簡単にボタンのロック解除ができるか？解除に手間取る場合は製造日を確認し、使用開始より2年以上経過した場合は早期交換すること。	
11	黒いボタンの底に圧力がかかっている場合、患者を担当している全てのスタッフが、どのようにボタンのロック解除を行うか理解しているか？	
12	スタッフはマグネットキーの保管場所を理解しているか？	
13	緊急の場合や非常時は、背中の黒もしくはグレーの連結ストラップを簡単に手術用ハサミまたは緊急用カッターで切り、患者をベッドから離すことが可能であると全スタッフが認識しているか？	
14	点火の道具や切断の道具は、患者に届かない場所に保管されているか？	
15	患者が乱暴なら股下ストラップ、抜け出し防止ベルト、脚部／肩部調整ストラップを併用。	
16	両側のバックルにストラップを通すこと。ベッド柵は常に上げ、全ての隙間を埋めること。	
17	勤務する病院の観察手順を理解しているか？	